



令和5年度母子・父子自立支援員研修会
自由討議（パネルディスカッション）

司会進行 九州ブロック長
山口 育子

自由討議について

この研修ではパネラーがテーマについて意見を発表し、座談会形式でお互いに意見交換したあと、会場参加の方やオンライン参加の方が意見交換に加わって話し合います。テーマは大きく2つにしました。それぞれの立場で意見を出していただき、活発な討議をお願いします。

1. 支援・施策に関すること

- ① 母子・父子寡婦福祉資金の貸付について
- ② 償還指導について
- ③ 貸付内容についての要望

2. 母子・父子自立支援員の資質向上について

①.母子・父子寡婦福祉資金の貸付について

- a. 「貸付を必要としているひとり親家庭に資金の活用を届けたい。」
「審査が厳しくなっている。」
- b. 「償還の可能性について、審査会でどのように検討しているのか。」
「母子自が相談の中で申請者にどのように助言しているのか。」
- c. 「資金が決定してから借主の手元に資金が届くまで時間を要するため資金活用が出来ない。」
- d. 「就学支援制度や奨学金（給付型）を受けている方への貸付について、どう対応しているのか？制度がわかりづらい。」

②償還指導について

- a. 「償還金未納者への指導方法・接点の方法を知りたい。」
- b. 「長期滞納者への対応で困っていることや困難なことを話し合いたい。」
- c. 「未納者が増えることで貸付審査に影響はあるのか。」

③貸付制度内容についての要望

- a. 「修学資金の必要経費にクラブ活動費など課外活動費を加えて明記してほしい。」 「高校の生活費を対象としてほしい。」
- b. 「県に対して、丁寧な説明をするよう、こども家庭庁より指導してほしい。（制度改正の内容等）」
- c. 「私立中学校の就学支度資金の貸付制度を新設してほしい。」
- d. 「自動車運転免許習得のための資金について、『就職するために必要な知識技能を習得するために必要な経費』に『就職活動するために・・・』の文言を明記したい。
- e. 「修業施設の就学支度資金の償還期間5年を修業資金と同じく20年償還にしてほしい。」
- f. 「償還をゆうちょ銀行でもできるようにしてほしい。また、コンビニ納付ができるようにしてほしい。」
- g. 「福祉資金ハンドブックの作成（更新）をしてほしい。」

2. 母子・父子自立支援員の資質向上について

- a. 「会計年度任用職員という立場でどこまで業務をしてよいのか。」
- b. 「地域との関り方や関係機関との連携についてもどう関わり連携したらよいのか。すべての市町に母子自が配置されていれば連携もしやすいし、相談もしやすいと思う。」
- c. 「自治体によっては3年任期のところもあり、雇用が不安定。長くかかわりが必要なひとり親家庭だが、支援の途中で辞めなければならない。」
- d. 「母子自の仕事が一般に知られていないし、名称も普及していないと感じる。職員の方から母子自の業務を認めてもらうにはどうしたらよいか。」
- e. 「仕事内容がカウンセリング要素の必要性が高くなっているが、カウンセラーではない立場で助言して良いものか悩む。また、そういった内容の研修を行っているところはあるのか。」